



外観イメージ

富津市に新オフィス 類設計室で設計進む

80周年のキミカ

アルギン酸メーカーのキミカ（東京都中央区）は、創業80周年事業として千葉県富津市に新オフィスを建設する。設計は類設計室で進めている。

4月末に実施設計を終えてから施工会社を決める予定だ。7月に着工し、2022年7月の完成を目指す。

規模はS・RC造2階建て延べ3450平方メートル。オフィス、研究開発ラボ、品質管理ラボ、福利厚生施設の機能を設ける。

ダイナミックな構造設計により、1階は約18×70メートルのオフィス、2階も約24×70メートルのラボを柱のないワンフロアの巨大空間とする。“次世代型輻射式空調”を採用するほか、

冬は地下水から熱を取り出し、夏は地下水に熱を吸収させる。水害に備えるため、建物は50センチ底上げし、ラボの測定機器や電気室を2階に配置。太陽光発電や充電ステーションの導入も検討する。

建設地は富津市大堀1029。

